

## 第 3 章

### 計画の基本理念

## 第1節 計画の基本理念

### ともに学び ともに創る 地域共生・信州

- ・ 世代の違い、障がいの有無、文化の違いなど多様な個性を学び合い、尊重し合い、お互いに関わり合い、誰もが生き生きと暮らす信州
- ・ 分野や立場に関わらず、様々な人や組織の協働により、ライフステージを通じて、その人らしい居場所と出番がある豊かな信州
- ・ 福祉だけではなく、分野の枠を超え、困りごとに応じて支え合いの輪が重なり合い、ともに支え合う信州

## 第2節 私たちが目指す地域共生社会とは

長野県が目指す地域共生社会について共有するため、次のとおり3つのイメージを掲げます。

### イメージ1

お互いに関わり合いながら、誰もが居場所と役割を持ち、その人らしく生きることのできる「ごちゃまぜ」(※)の社会

信州の自然と培われてきた風土の中で、子どもも高齢者も、障がいや個性を持つ人も、多様性を尊重し合いながら暮らす、誰にでもあたたかな地域社会の姿です。

### イメージ2

「支え手」「受け手」の役割分担を超えて、皆が地域づくりの主体として支え合う社会

人口減少社会において、一人ひとりを地域の宝として、チャレンジする人を何度でも応援し、それぞれの個性を活かした活躍の場を創造していく、地域社会の姿です。

### イメージ3

住民や団体、法人など多様な担い手が地域福祉に参加し、地域性にあわせて、自助、互助、共助、公助により包括的に支える社会

地域課題を「我が事」として受け止めた住民の福祉活動と、地域で解決できない課題を「丸ごと」受け止める相談窓口、そして、課題解決に専門的に対応していく相談支援ネットワークが包括的に支える社会の姿です。

### ※「ごちゃまぜ」

福祉的なサービスが必要な人も、そうでない人も、多様な個性の人が、同じ地域の一員として生きていくというイメージ

### 第3節 施策の基本的視点

基本理念を実現するため、次の視点を、地域福祉を推進する施策の視点として掲げます。

#### 学びの推進

- ・誰もがその人らしく生きるために、地域に生活する人々が、多様な個性を学ぶこと。
- ・皆が地域づくりの主体として支え合うために、地域で営まれている様々な活動を学ぶこと。
- ・地域の中で、包括的に支える社会をつくるために、福祉に関する多様な担い手が必要な知識を学ぶこと。

#### 場づくり

- ・誰もがその人らしく生きるために、地域の中の多様な居場所をつくること。
- ・皆が地域づくりの主体として支え合うために、個性を生かせる活動の場をつくること。
- ・地域の中で、包括的に支える社会をつくるために、多様な担い手が地域福祉に参加し、専門的な相談支援の場をつくること。